



**USER MANUAL
SXC SUSPENSION FORK**

GIANT

はじめに

Giant SXCサスペンションフォークをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書には、安全、性能、およびメンテナンスに関する重要な情報が記載されています。いつでも参照できるよう大切に保管してください。

重要:ご使用前にお読みください

初めて自転車に乗る前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。すべての項目に目を通し、特に「安全」の章は注意してお読みください。ご質問がある場合は、お近くのジャイアント正規販売店までお問い合わせください。

警告

- フリーライド、ダウンヒル、その他の過酷な走行条件下では、このサスペンションフォークを使用しないでください。
- Eバイクのサスペンションフォークとして使用しないでください。
- サスペンションフォークの洗浄に、高圧洗浄機を使用しないでください。
- 取扱説明書に従わない場合、製品が破損し、保証が無効となることがあります。
- これらの安全上の指示に従わない場合、重大な怪我または死亡事故につながる恐れがあります。

注意

- お使いの自転車の仕様に適合したサスペンションフォークを使用してください。
- 最大荷重: 136kg (299ポンド) はユーザー + 付属部品の合計重量です。ご自身の安全のため、指定の重量制限は必ず遵守してください。
- 不適切な組立、メンテナンスや改造をすると保証は無効となります。
- サスペンションフォークはジャイアント正規販売店に依頼して、定期的にメンテナンスを実施してください。ジャイアント正規販売店以外による部品のメンテナンスおよび交換は許可されておらず、保証は無効となります。すべてのサービスおよび交換部品は、ジャイアント純正でなければなりません。
- 乗車の安全を確保するために、設定、使用、メンテナンス、サービス情報の指示には必ず従ってください。これらの安全上の指示に従わない場合、重大な怪我または死亡事故につながる恐れがあります。

サービスと技術サポート

問題が発生した場合、またはこの取扱説明書の記載内容についてご不明な点がありましたら、お近くのジャイアント正規販売店までお問い合わせください。

詳細については、<https://www.giant-bicycles.com/global/manuals>をご覧ください。

販売店またはジャイアントについての詳細は、www.giant-bicycles.comをご覧ください。

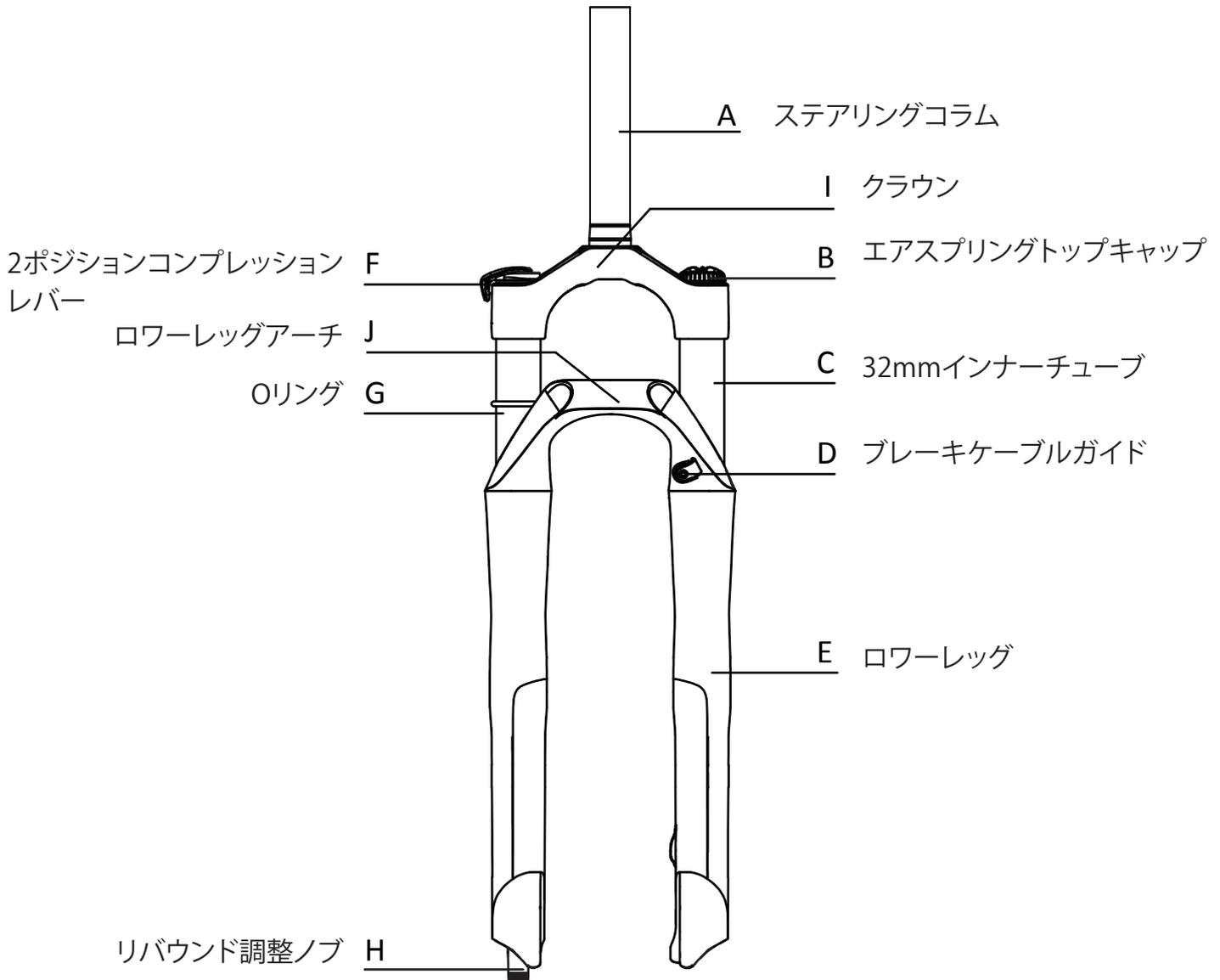


乗車前の安全点検

- ブレーキシステムが正常に機能することを確認してください。ブレーキシステムの詳細については各メーカーの技術情報をご覧ください。
 - Shimano: <https://si.shimano.com/#/>
 - SRAM: <https://www.servicearchive.sram.com/service>
 - TRP: <https://trpcycling.com/downloads/>
 - Tektro: <https://www.tekro.com/download.php?t=7>
 - 装着されているブレーキシステムが不明な場合は、ジャイアント正規販売店までお問い合わせください。
- ホイールが正しく固定されているかを確認してください。
- すべてのボルトが正しく締め付けられていることを確認してください。
- 快適な走行のため、正しいタイヤ空気圧を確認してください。
- サスペンションフォークの表面を確認し、曲がり、変形、割れなどがいないか確認します。
- オイル漏れが無いかを確認してください。
- サスペンションフォークの正しい空気圧設定を確認してください。

問題が発生した場合は、お近くのジャイアント正規販売店までお問い合わせください。
 詳細についてはGiant: <https://www.giant-bicycles.com/global/manuals>をご覧ください。

製品の紹介



取り付けの注意

警告

- このサスペンションフォークは、指定の取り付け方法に従って、ジャイアント正規販売店が取り付ける必要があります。取り付けが不適切な場合、サスペンションフォークが正しく機能せず、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。
- サスペンションフォーク各部表面の曲がり、変形、割れは破損や動作不良を引き起こし、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。
- フォークを改造すると、保証は無効になります。自転車に合わせて適正な長さに切断する場合を除き、ステアリングコラムを改造することは破損や動作不良を引き起こし、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。
- ステアリングコラムのスペーサーは、30mm以下になるよう設定してください。30mm以上のスペーサーは、破損や動作不良を引き起こし、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。
- ステアリングコラムを極端に短く切断しないでください。ステアリングコラムの上端とステム上端の間隔は2～5mmで、ステアリングコラム上端の高さは、ステムの上側のボルトよりも上になければなりません。ステアリングコラムの長さが不十分だと、破損や動作不良を引き起こし、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。
- ステムの取り付けについては、ステムメーカーの取扱説明書を参照してください。取り付けが不適切な場合、破損や動作不良を引き起こし、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。

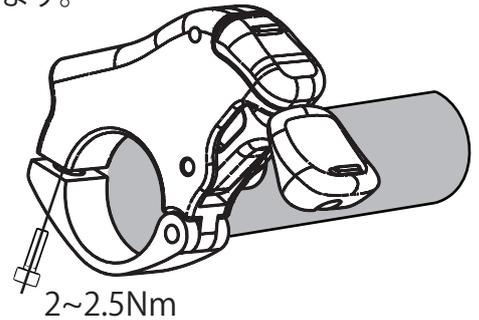
フォークの取り付け

1. お客様の自転車に最適なサスペンションフォークを選択し、元のフォークを取り外します
2. 元のフォークから、下玉押しを取り外します。
3. ヘッドセットメーカーの取扱説明書を参照して、下玉押しをサスペンションフォークに取り付けます。
4. ソーガイドを使用して、必要に応じてステアリングコラムを切断します。
5. ステアリングコラム上端から12～16mm下にスターナットを挿入します。
6. ヘッドセットが自転車のフレームに正しく取り付けられていることを確認します。
7. サスペンションフォークを自転車のフレームに取り付けます。
8. ステアリングコラムにスペーサー（複数可）を取り付けます。スペーサーの高さは30mm以下にしてください。
9. ステアリングコラムにステムを取り付けます。ステムメーカーの取扱説明書を参照して、適切に取り付けしてください。
10. ヘッドセットメーカーの取扱説明書に記載の推奨トルク値で上部キャップを締めます。
11. ステムメーカーの取扱説明書に記載の推奨トルク値でステムのボルトを締めます。

問題が発生した場合、またはこの手順にある記載内容についてご不明な点がございましたら、お近くのジャイアント正規販売店までお問い合わせください。

リモートコントロールレバーの取り付け

リモートコントロールレバーのボルトを推奨トルク値の2~2.5Nmで締めます。



ディスクブレーキの取り付け

1. ディスクブレーキメーカーの取扱説明書を参照して、フォークレグにブレーキキャリアを取り付けます。
2. 付属のブラケットを使用してディスクブレーキホースをGiant SXCサスペンションフォークに固定し、推奨トルク値でボルトを締めます。



警告

- ディスクブレーキシステムの取り付けや確認は、ジャイアント正規販売店に依頼されることを強くお勧めします。
- 走行する前に、ディスクブレーキシステムの取り付けを再度確認してください。取り付けが不適切な場合、ブレーキが正しく機能せず、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。

注意

- SXCサスペンションフォークに互換性のあるディスクブレーキのローターサイズは160mm~180mmの範囲です。ディスクブレーキメーカーの取扱説明書を参照して、正しいアダプターを取り付け、推奨トルク値でボルトを締めてください。
- ディスクブレーキシステムの正しい取り付けについては、ディスクブレーキメーカーの取扱説明書に記載されたすべての指示に従ってください。

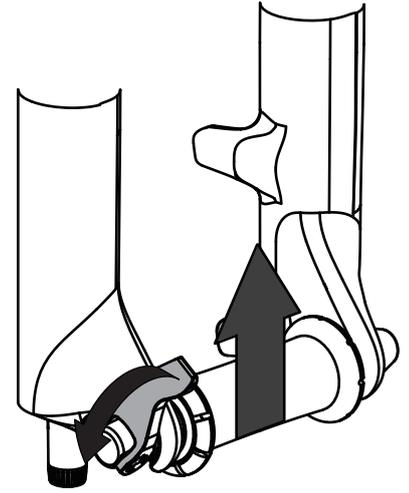
前輪の取り付け

警告

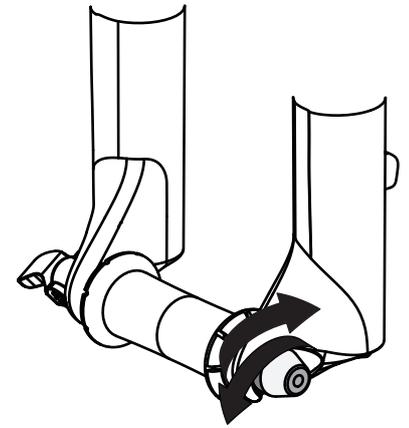
- Giant SXCモデルにはクイックリリースシステムが備わっています。
- クイックリリースの正しい取り付け方法を完全に理解していただくため、走行前にジャイアント正規販売店にて十分な説明を受けてください。
- 取り付けが不適切な場合、ホイールが正しく機能せず、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。

クイックリリースシステムの前輪取り付け方法

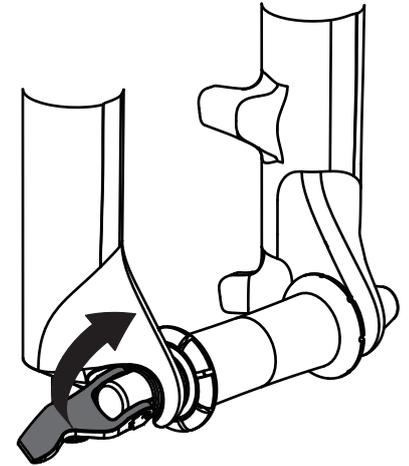
1. クイックリリースを前輪のハブに取り付け、前輪をサスペンションフォークに取り付けます。ディスクブレーキのローターがブレーキキャリパーのブレーキパッドの間に正しく配置されていることを確認してください。ハブやローターの位置が合っていない場合、ホイールを無理に押し込まず、一度取り外してからやり直してください。ディスクブレーキの正しい設定と調整については、ディスクブレーキメーカーの取扱説明書を参照してください。



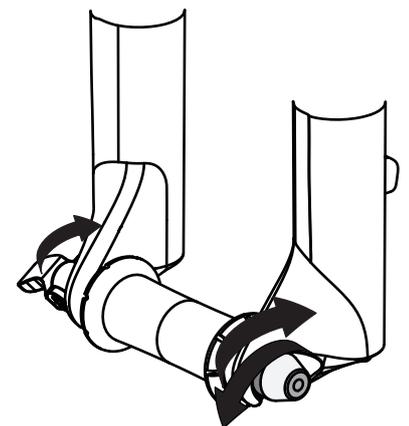
2. クイックリリースのレバーを開いた位置にして、ディスク側の調整ナットを指の力で締めてください。



3. レバーを水平位置にし、しっかり閉じてください。(手にレバーの痕がわずかに残る程度)。



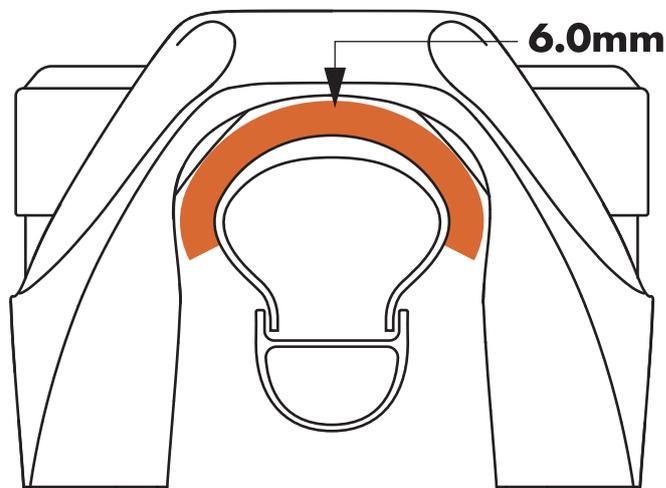
4. レバーがきつすぎたり緩すぎたりして閉まらない場合は、レバーを開いて調整ナットを適切に調整します。レバーがスムーズに、しっかり閉じるまで、必要に応じて繰り返します。



クイックリリースの締めつけについてご不明なことがあれば、ジャイアント正規販売店までお問い合わせください。

タイヤとホイールサイズの互換性

Giant SXC サスペンションフォークには、27.5インチおよび29インチホイールサイズ用があります。27.5 x 2.6タイヤまたは29 x 2.4タイヤまで適合します。ブランド/タイヤによる差異があるため、すべてのタイヤサイズは完全に圧縮したフォークで確認し、タイヤからクラウンまたはレッグアーチ底部のクリアランスを最低6.0mm確保する必要があります。メーカーの取扱説明書を参照して、自転車の仕様およびタイヤの取り付けに関する推奨事項と手順を確認してください。



警告

フォークが完全に圧縮された状態で、タイヤの上部とフォークのレッグアーチまたはクラウン底部のクリアランスが最低6mmなければなりません。

タイヤのクリアランスが不十分な場合、ホイールが正しく機能せず、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。

空気圧の設定

サグ設定

Giant SXCサスペンションフォークはサグ値を適切に設定することで、最適なサスペンション性能を実現します。

1. サグを設定する前に、リバウンド調整ノブを反時計回りに停止するまで回し、コンプレッションノブを開放位置にします。
2. 体重に合わせた推奨空気圧を確認し、ショックポンプを使用して正しい空気圧に達するまで空気を入れます。
3. インナーチューブのOリングを、ロワーレッグのワイパーシールまで下げます。
4. 壁やフェンス、木、またはアシスタントの手を借り、ライディングキットを着用した状態で自転車にまたがり、両足をペダル、手をハンドルに乗せて自然なライディングポジションをとります。
5. 自転車から静かに降りて、ロワーレッグのワイパーシールからOリングまでの距離を測定して、サグ値を決定します。
6. 空気圧を調整し、推奨されるサグに達するまでこれを繰り返します。

推奨サグ値

フォークトラベル (mm)	サグ (%)	サグ (mm)
80	20	16mm
100	20	20mm

空気圧の設定

合計重量 kg (lbs)	空気圧 (psi)	
	80 MM トラベル	100 MM トラベル
<50 (<110)	60	60
50-60 (110-132)	73	70
60-70 (132-154)	83	80
70-80 (154-176)	93	90
80-90 (176-198)	103	100
90-100 (198-220)	113	108
100-110 (220-243)	122	116
110-120 (243-265)	131	124
>120 (>265)	140	132
最大荷重	136kg (299lbs)	136kg (299lbs)
最大空気圧	140	140



警告

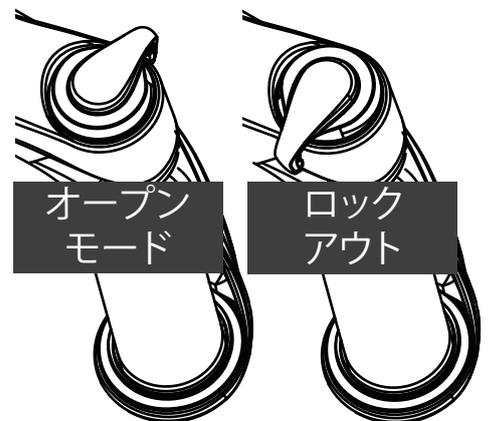
フォークの最大空気圧を超えないようにしてください。

ロックアウト

SXCサスペンションフォークは2ポジションのコンプレッションモードを選択できます。

オープンモードはよりテクニカルな地形を下るのに適しています。

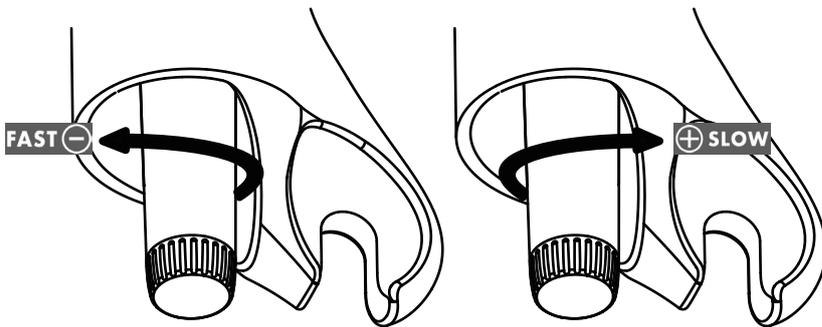
ロックアウトモードでは、起伏やクライミングにおいてより明確なダンピングが得られます。



リバウンド調整

リバウンド調整は、フォーク圧縮後のサスペンションフォークの伸張速度を制御します。ライダーのライディングスタイルに合わせて、リバウンドの速度を調整してください。

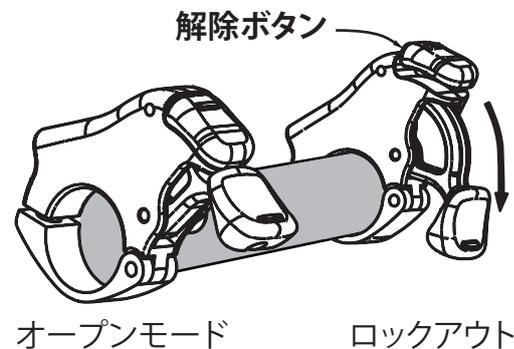
REBOUND
FAST ⊖ ← → ⊕ SLOW



調節できる範囲は、リバウンド調整ノブを時計回りに最後まで回した最も遅い位置から、リバウンド調整ノブを反時計回りに最後まで回した最も速い位置まで存在します。

リモートコントロール操作

モデルによっては、ハンドルバーに取り付けられる2ポジション（オープン/ロックアウト）リモートコントロールレバーが装備されています。レバーを押して下げると、フォークがロックアウトされます。解除ボタンを押して戻すと、フォークがオープンモードになります。



サービスとメンテナンス

サービス間隔	内容
走行前	フォーク、自転車、すべてのコンポーネントの摩耗と損傷を確認する
毎回の走行後	インナーチューブとワイパーシールの清掃
50時間走行後	ロワーレグのサービス
200時間走行後または1年後。	エアスプリングとダンパーのサービス

警告

- ワイパーシールが破損する可能性があるため、高圧洗浄機を使用してサスペンションフォークを清掃しないでください。
 - サスペンションフォークを分解または改造しないでください。これにより保証が無効になります。
 - すべてのフォークサービスはジャイアント正規販売店またはサービスセンターで実施する必要があります。
 - Giant SXCサスペンションフォークは-30℃～80℃の間の温度で保管および動作する必要があります。
- ご利用のサスペンションフォークで問題が発生した場合は、速やかにジャイアント正規販売店までお問い合わせください。

ジャイアント製品保証

株式会社ジャイアントは、本製品を新品でジャイアント正規販売店から購入し、購入時に販売店で取り付けられた場合に限り、購入日から2年間の品質保証を提供いたします。

保証内容

別段の定めがある場合を除き、こちらに記載されていないすべての保証内容は、不具合のあるパーツの、それと同等かそれ以上の価値があるとジャイアントが独自に判断するパーツへの交換のみに限らせていただきます。この保証は購入日より開始され、お買い上げいただきましたお客様本人にのみ適用され、譲渡することはできません。ジャイアントは、いかなる場合においても、直接的、二次的、あるいは派生的に起こった、負傷による損害、所有物への損害、経済的な損害などを含むあらゆる損害に対し、それが契約、保証、過失、製造物責任、またその他の理論に基づくものであっても、その責任を負うことはありません。

保証対象外

上記の保証、または黙示的保証に次のものは含まれません。

- 取り付けや材料の不良がない場合に、通常の使用において自然に生じたパーツの摩耗および劣化。
- ボルト、ナット、キャップ、カートリッジ、リバウンド調整ノブ、OリングおよびXリング、スルーアクスル、クイックリリース、ピストンセットなどの消耗品。
- ジャイアント正規販売店以外が修理した製品。
- 製品を元の状態から改造した場合。
- 通常とは異なる状況または過酷な走行条件、レース、商用活動での本製品の使用、および設計目的以外での本製品の使用。
- 取扱説明書に従わなかったことが原因で発生した損傷。
- 通常の磨耗、レース参加、ジャンプ、ダウンヒル、これに準ずる活動やイベントのための練習などで、過酷な条件や環境で製品を使用したことによる塗装やデカールへのダメージ。
- パーツ交換や改造にかかる人件費。

本保証書で提供されているもの、およびすべての追加的な保証によるものを除き、ジャイアントとその従業員、および販売店は、(偶発的または派生的な損失、不注意や不履行による損害を含む)いかなるジャイアント製品に起因するあらゆる損失や損害に対し、その責任を負うことはありません。

ジャイアントはここで明記した、または明記していない保証以外の内容を、保証として行うことはありません。製品価値や特定の目的に対する適合性に関する事柄を含む、ここに明記されていない全ての保証は、上記の保証の期間内にのみ適用されるものとなります。

保証を受ける場合には、ジャイアント正規販売店に申し付けください。保証を受ける場合には、購入時のレシートまたはその他の購入日を証明するものがが必要です。

海外で購入された製品の保証は有償となり、追加の制限を受ける場合があります。保証期間および詳細は国ごとに異なる場合があります。この保証はお客様に特定の法的権利を与えるものです。これらの権利は、居住地により異なる場合があります。この保証はあなたの法的権利に影響を与えません。